資料 5

大手通坂之上町地区の再開発「米百俵プレイス（仮称）」

人づくり・産業振興の拠点に

問中心市街地整備室☎39・2807

＼こんな機能が入る／ 米百俵棟の「人づくり・学び・交流エリア」

産業人の育成と産業基盤の強化の拠点

■3大学1高専の強みを活かす「長岡版イノベーション」の拠点

学生の活動拠点・異業種交流の場（コワーキングスペース）やものづくり工房、起業家の育成や新しいビジネスの支援の場、産学協創センターなど、3大学1高専からの提案「NaDeC（ナデック）構想」を実施。

■産業ビジネス支援の場

産学官金の集積機能を活かし、頑張る企業や働く人を総合的に支援する産業振興の拠点「長岡産業ビジネス交流館(仮称)」を整備。

新しいスタイルの図書館（人づくり・学びの拠点）

■まちなか図書館

互尊文庫を移転。併設するカフェのコーヒーを飲みながら利用可能。

■学習室

静かな所とにぎやかな所が選べます。

■歴史人物史コーナー

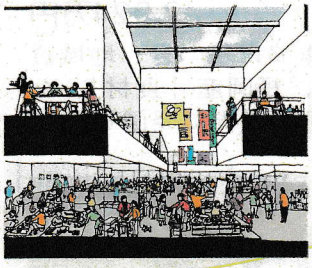
メインテーマは「米百俵」。デジタル技術を活用した体験・思考型の展示も。

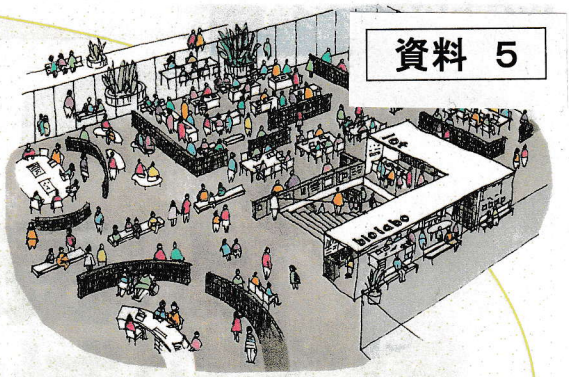
■子どもラボ

未来を生き抜く力を養う学びの場。

■若者ラボ

ダンスや音楽ができ、中高生のにぎわいを生むスペースなど。





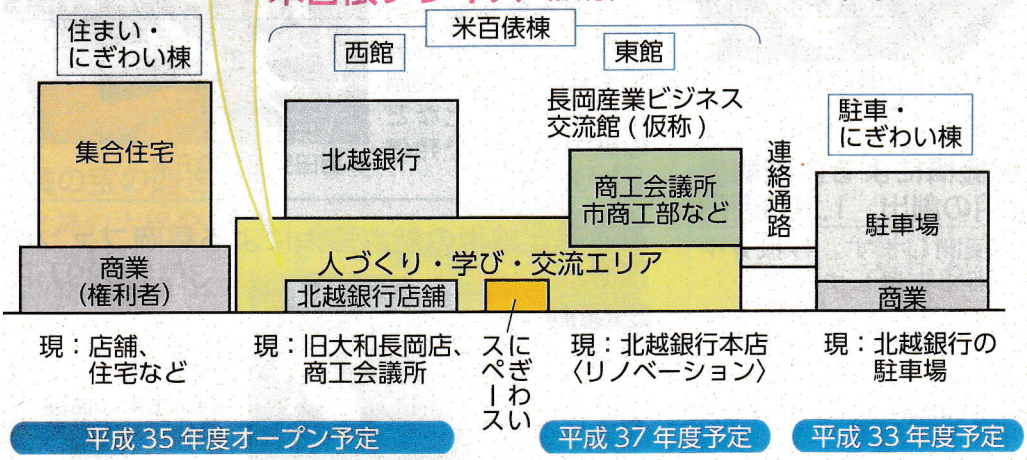
▲開放的な空間で、子ども・産業人・利用者が互いに刺激し合う場に。施設の随所に本を配置し、各機能を本がつなぎます

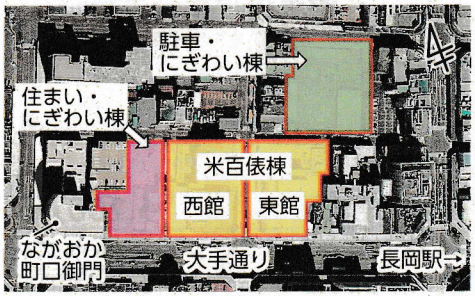
にぎわいスペース

■カフェ、グリーンテラス 屋内広場

誰もが気軽に集える緑あふれる憩いの交流スペース。

米百俵プレイス（仮称）の階層イメージ(案)





大手通坂之上町地区の再開発事業区域（1.7ha）

大手通坂之上町地区の市街地再開発事業で、人づくり・産業振興の拠点として4棟からなる「米百俵プレイス（仮称）」を整備します。同地区は北越銀行本店や旧大和、商工会議所などの区域。「米百俵の精神」から生まれた国漢学校の跡地です。

このうち、市が整備するのは「人づくり・学び・交流エリア」。有識者による検討会や関係者の意見を聞き、この地区の歴史を活かす整備方針をまとめました。

イノベーションとにぎわいを、市全域に

方針では、このエリアに互尊文庫を移転して新しいスタイルの図書館機能を導入。さらに、産業を興す人材の育成と、市内3大学1高専のイノベーション拠点となる機能を整備し、未来への投資を行います。中心市街地でこれまでに整備した施設と連携し、市全域のイノベーションとにぎわい創出につなげます。

今後、市民のみなさんの意見を聞きながら市の導入機能の基本設計を年度内に実施。来年度から工事に着手し、各棟を順次開館、平成37年度の完成を目指します。